

山口氏追っかけが二人に!! ベトナム反戦魂に初参加者も感動!!

出発式にあたり、田中和夫さんは、21世紀平和を守る時代と思っていたが、ロシアが戦争の時代に逆戻りさせたと痛烈に批判。翻って日本も戦争をする国に政府が主導して、核武装も目論んでいるが、この企みを許さず原点に戻って頑張りたいと決意。滝井正光塩江支所長は、平和大行進が、ノーモア広島・長崎のスローガンで64年の活動に敬意を表し、「核のない世界」は共通の願いだが、北朝鮮問題やロシアの侵攻は核使用まで言及していると批判。行進の安全と健康に留意してと労い、挨拶としました。

香南支所の中村太支所長は核兵器のないそして戦争のない世界は共通の願いと強調し、ウクライナ戦争は心が痛むが、ウクライナの平和を望む地道な活動に期待すると挨拶。また側瀬充洋香川総合センター長は暑い中の行進を労い、ロシアの戦争は世界が心配し、震撼させていると指摘し、この暴挙を終わらせるように切に願っている。平和行進は1958年以来65回目になると敬意を表し、同時に世界中が注目していると強調し、その安全を祈念し挨拶としました。

山口逸郎さんは、各支所でのあいさつで、「翼は心につけて」や「おこりじぞう」等を製作したと自己紹介すると、参加者が「うなずく」場面もありました。そして、この3年間果たせなかった「お遍路行進」が実現したがTPNW発効1年と、ロシアの侵攻と核使用威嚇に対して、「喜びと怒り」の行進を「同行二人」の心構えで頑張ると挨拶。

山口さんの追っかけがまた一人、今日は静岡から小林さんが参加しました。行進者の中には3年前に脳梗塞で危うくの方も行進します。その方がリハビリ中にも関わらずに行進。年代から察すると青年時代に「ベトナム反戦」を体験した方と思い、ロシアのウクライナ侵攻にいてもたってもいられなかったのではないかと胸が熱くなりました。

初参加の感想で次のメッセージが印象的でした。

「ニュースでウクライナへのロシア侵攻や核兵器の問題を見ても、どこか他人様の様に感じていましたが、実際に身近なところから、声を上げて活動されている事が素晴らしいと思いました。」とありました。(KH 40代)



香川支所でのセンター長の労い



塩江支所での出発式
支所長と「一歩行進」



医療生協「はーもにー」でのお接待